

令和8年1月14日(水) 令和7年度 第9号



さいたま市立泰平中学校

# 学校だより

さいたま市北区本郷1991 電話：048(651)4134

## 【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

## 【目指す学校像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、  
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校

— 大好きTAIPEI —



## 「夢の実現」

校長 宮内 和典

保護者の皆様、地域の皆様、旧年中は、泰平中学校に多くの御厚情を賜りましてまことにありがとうございました。無事に令和8年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の御理解と御協力の賜物と思っております。本年も泰平中学校に変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

さて、皆様新年をどのように迎えられたでしょうか。初夢は御覧になったでしょうか。初夢はいつも見る夢なのかは、諸説あるようですが、今日では元日の夜から二日にかけてみる夢が「初夢」とされているようです。そして、江戸時代より縁起を担ぐ初夢といえば「一富士 二鷹 三茄子」と言われてきました。これは、「富士＝無事 鷹＝高く なすび＝ことを成す」という縁起をかついだ語呂合わせからきているそうです。また、江戸時代には、良い夢を見たいという願いから、元日の夜は枕の下に宝船の絵を入れて寝る風習もあったそうです。このようなエピソードからは、あらゆることを縁起かつぎと結びつけて、運気を良くするように努め、おめでたいことを、喜びを、楽しもうという、昔の人々の遊び心と、新しくなった年を良い年として祝い、実際に運気の良い1年にしようという強い願いも感じることができます。

新しい年が来ると「今年こそは」と頭の中で夢を描きます。生徒の皆さんは新しい年を迎え、どんな「夢」を描きましたか。新年を迎え、心新たな気持ちでこれから訪れる1年の希望や目標を掲げるとはとても良いことです。でも、夢や目標は、ただ描いていただけでは実現しません。その夢に向かって一歩ずつ努力することが必要になります。そのためには、今は何をやるべきなのかを考え、やれるところから実際に行動を始めることが大切だと思います。令和8年(2026)は午年です。馬は常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む象徴でもあります。学校生活でも、私生活の中でも、今年は「自主性」と「主体性」というキーワードを意識して、泰平中の生徒の皆さんには、自己実現のために、本年の干支のように突き進んでもらえればと思います。しかし、なかなか努力しても目に見えるような成果として現れないときもあるでしょう。嫌になってやめてしまおうと思うときもあるかもしれません。ですが、そう簡単には実現しないことも事実です。焦らず、あきらめずに続ける大切さも合わせて学んでもらえればと思います。



## 体育館空調が設置されました。

10月より進めてきました、体育館の空調設備がいよいよ完成し、間もなく使用開始となります。各種の行事等を行う際、その実施について、暑さ寒さに影響されなくなります。本校生徒がより快適に、のびのびと学ぶ姿を多く見ることができそうです。充実した活動に役立つよう、活用したいと思います。